

12/16
(水)

医療現場・市民・大学関係者有志で
「COVID-19 クラスター防止策を考える」
アイデアソンをオンラインで開催

熊本学園大学経済学部 境章教授(専門:情報科学)が代表を務める「Code for Kumamoto」と熊本託麻台リハビリテーション病院、境章研究室が主催し、新型コロナウイルスのクラスター防止策を考えるアイデアソン(※)を12月16日(水)にオンライン(Zoom)で開催します。

Code for Kumamoto は、プログラミングやインターネットに関する知識の有無にかかわらず、企業・行政・大学や市民と一緒に ICT を活用した地域の課題解決やまちづくりなどの施策を考えていく団体で、境教授の呼びかけで2019年6月に結成されました。新型コロナウイルスが流行してからは、熊本県内の新型コロナウイルス感染症の動向を、県が発表するオープンデータを使ってグラフなどで可視化し、サイト上に公開する活動を行っています。

今回のアイデアソンは、医療現場・市民・大学関係者がオンライン(Zoom)上で集い、新型コロナウイルスの感染症防止対策に有効な Web アプリケーションやサービスのニーズを共有し、実現に向けたアイデアを出し合います。熊本託麻台リハビリテーション病院からは、「感染防止対策プロジェクトチーム」を立ち上げ、新たな生活様式の推進をめざす取り組みについて平田好文理事長の講話を予定しており、同院が実施している感染防止対策や、地域の方を対象に開いている「感染防止対策教室」などについて話を聞きます。その後、接触確認アプリ「COCOA」や、スマートフォンの GPS や Bluetooth 機能を使用した方法で3密を測定する「3密チェッカー」など、現存するアプリの使用感などを確かめながら、今必要とされる機能や実証の可能性について意見を交わします。

新型コロナウイルスに関する新たな情報が次々に出されるなかで、信頼性のあるデータをいかに活用していくべきか、知恵を出し合う機会です。よろしければ取材いただきますよう、ご案内申し上げます。

※アイデアソン:アイデアとマラソンをかけた造語で、アイデアを出し合い“続けて”まとめていく課題解決型のワークショップのこと

<COVID-19 クラスター防止策 アイデアソン>

- 日時 12月16日(水) 19:00~21:00 / オンライン (Zoom) での開催
- 主催 Code for Kumamoto、熊本託麻台リハビリテーション病院、熊本学園大学 境章研究室
- 共催 アーバンデータチャレンジ2020 実行委員会
- プログラム
 1. インプット (40分)
熊本託麻台リハビリテーション病院 理事長 平田好文 氏
 2. アプリ事例 (20分)
COCOA、3密チェッカーなどツールの紹介
 3. プチアイデアソン&発表 (60分)

申込みQR

